



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-5550-7045
担当者の所属・氏名 臨床検査科 市川奈央子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床検査科 市川奈央子

先天性心疾患の方を対象とした心機能に関する研究

1.研究の対象

2017年1月～2019年3月に当院で心臓超音波検査とMRI検査両方を受けられた先天性心疾患(Fallot四徴症、完全大血管転位症、兩大血管右室起始症、単心室、修正大血管転位症)の方。

2.研究の目的・方法

先天性心疾患の右室機能評価はガイドラインに超音波検査の計測値の重症度評価の設定がされていません。右室収縮能評価で最も精度が高い検査はMRIです。しかし閉所恐怖症の方、呼吸調節のできない方には困難な検査で、MRI非対応のペースメーカーなどの医療装置が体内に挿入されている方は禁忌とされています。そのため、全例をMRI検査で経過観察することは困難です。MRIと比較し、超音波検査はベッドサイドで非侵襲的に短時間で施行できます。本研究では、心臓超音波検査における収縮機能の重症度を設定することにより、今後の治療・手術適応の決定に貢献するものと考えます。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載されている内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、カルテ番号、年齢 等

心臓超音波検査の計測値 (FAC等)、MRI検査の計測値(RVEF)

4.研究組織

聖路加国際病院 臨床検査科 市川奈央子